



廃熱を利用し新たに設けられた「足湯」

5/19 次世代エネルギーパークがオープン

花フェスタ記念公園で、「次世代エネルギーパーク」のオープニングセレモニーが行われました。

燃料電池や太陽光発電など、地球に優しい新エネルギーを体験し、理解を深めることができる施設として岐阜県が整備し、全国では25カ所目、県内では初めてのものです。

また、燃料電池から出る廃熱を利用した「足湯」も設けられ、公園内を散策した来園者が疲れを癒す場となることでしょう。

6/5・6 戦国武将をしのぶ

6月5日、「明智光秀公第429回忌法要」が瀬田のてんりゅうじ天龍寺で営まれ、明智城址保存会員と関係者ら約40人が参列し、可児市が生誕地と言われる戦国武将の遺徳をしのびました。

翌日6日には、「蘭丸祭」が兼山のかじょうじ可成寺（森家のぼだいじ菩提寺）で営まれ、約500人の参加者が420余年前に本能寺の変で最期を遂げた戦国の若獅子・森蘭丸をしのびました。



光秀公の位牌に焼香する様子



蘭丸祭で甲冑を装う様子



調印式に参加した各自治体の首長

6/7 被災自治体を支援

市は、市町村広域災害ネットワークに加盟しました。近隣ではない全国11の市町と応援協定が結ばれたことにより、大規模災害が起きた場合は、お互いに助け合うことができます。

加盟団体 可児市、愛知県刈谷市、滋賀県野洲市、京都府八幡市、奈良県大和郡山市、和歌山県橋本市、大阪府泉大津市、兵庫県高砂市、岡山県玉野市、高知県香南市、福岡県行橋市、福岡県苅田町

6/13 可児川から海づくり

「全国豊かな海づくり大会」の可児サテライトイベントが市役所北側のふるさと川公園で行われ、約120人が参加しました。

参加者は水質や水生生物調査を行い、可児川の現状を確認しました。

その後、参加した小学生たちが43キログラムのコイの幼魚を放流しました。

次世代に美しい可児川を残すために・・・。



コイの放流をする子どもたち